埼玉県立大滝げんきプラザ

「単元の学習過程を明示した簡易版」

○活動プログラム「林業・屋外炊事体験」

○第１・２学年　生活単元　「林業体験と炊事体験をしよう」

○単元の目標

　・間伐材の加工方法や木材と生活の関連を知り、薪作りに取り組むことができる。

　・屋外炊事での調理の仕方を知り、カレー作りに取り組むことができる。

　・屋外炊事をグループで協力して、安全に気を付けて調理することができる。

　・林業体験・屋外炊事を通して、人との関わりの中で伝え合う力を高めることができる。

○学習過程と活動の流れ

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **学習過程** | **活動内容** | **時数** | **活動の場** |
| 【事前学習】課題の把握、設定、動機づけ | ・学習の進め方を知り、見通しを持つ。・大滝げんきプラザでの活動を知る。・大滝げんきプラザにある木の特徴を知る。・木に触れる体験を通して、木材の関心を高めさせる。 | １ | 秩父特支別援学校 |
| 【体験活動】課題の情報収集、追求、解決 | ・木の皮を剝いだものを見学する。・薪割りを体験する。・カレー作り体験を通して、調理について理解をする。・カレー作りでの様子を振り返る。主体的な学び・活動中に投げかけた課題について積極的に学習する。対話的な学び・仲間と対話しながら木材加工や調理を進める。 | ４ | 県立大滝げんきプラザ |
| 【事後学習】整理、まとめ、分析 | ・仲間と協力した活動を振り返る。・体験活動を通して学習したことをまとめる。・自分自身がうまくいった活動に気が付く。深い学び・薪作り・調理で培った仲間との協力について、生活で活かせる場面を考える。 | ２ | 秩支父援特学別校 |

○育成する資質・能力

【知識及び技能】

　・薪作りや調理に必要な技能を身に付けることができる。

【思考力・判断力・表現力等】

　・薪作りや屋外炊事の一連の体験活動を通して、生活に役立つための技能について考えることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

　・今後の生活に生かす技能を習得し、課題の解決に主体的に取り組むことができる。